

とことん伝え合う

プロジェクト名	ぞう 1月		
日付	2025年 1月 8日	記録者名	島田
園児			
本日のねらい・内容	新しい年になり、保育園で過ごすのもあと3ヶ月。生活面では、小さい友だちのクラスに2名ずつ行き、一緒に遊んだりおやつを食べたりするお世話当番やお昼寝をせず過ごす起きる当番など、いろいろなことに取り組んでいます。日めくりカレンダーを準備し「保育園に来るのはあとこれぐらいよ。」と見せると、「まだいっぱいあるじゃん!」と言う子もいれば、「えーこんだけしかないん?」と言う子もいて、感じ方もいろいろのようです。遊びの面では、縄跳びや鬼ごっこなどの集団遊びなどいつも集まっている感じのぞうさんですが、今日は同じタイミングで「だって」「なんで」と言い合う声が聞こえてきました。20分近く話し合い、最後はどちらも再び遊び始めました。それができたのは、とことん時間をかけ話し合ったからだと思います。ともに過ごしてきた仲間だからこそ、とことん話し合い、伝え合うことができる。そういう仲間になったんだと思いつつ、子どもたちの気持ちにしっかり寄り添っていきたいと思う場面でした。		



リレー形式で走り縄跳びをしていたのですが、「～が1番だったよ!」「違うよ!私だったし!」と順番のことで遊びを止まったようです。



それぞれに自分が良いと思う方法ややり方を伝えますが、全員が納得する答えにはならず、「それは嫌だ。」「じゃあどうするんよ?」という会話が繰り返されます。



こちらは鬼ごっこをみんなでしたい!でも、仲間に寄せてくれん!という話です。「寄せとるじゃん!」「みんなでやとるよ!」という子もいれば、「寄せてくれてないじゃん!」と思いがちがあるようです。



言い方を変えるなどしますが、なかなかみんなが思うような話にならず、時間が過ぎていきます。

今後の展開